

工事見学を終えて

富山県立桜井高等学校
土木科 吉田 大成

下新川海岸吉原離岸堤工事の現場見学に行って印象に残っていることが三つあります。

一つ目は、離岸堤のコンクリートブロックの形などは、その離岸堤それぞれの位置の沖の方の地形に合わせて考えられて設計しているということです。特に吉原を含めたその周辺の海岸は波が高く、浸食も激しいそうなので、こうした工夫が必要なのだと思います。また、離岸堤と離岸堤の開口部からの波の進入を防ぐために副離岸堤というものを設置してあり、波に対してものすごく警戒しているということがわかりました。

二つ目は、共和土木の方がおっしゃっていた「仕事を失敗したことがいつも心に残っている。成功して綺麗に作ったものなどはあまり覚えていない。」という言葉です。その失敗を次にしないように気をつけているということだと思います。僕も将来土木関係の仕事に就いたら、常によりよい仕事をするという向上心を持って仕事をしたいと思います。

三つ目は、富山湾についてです。富山湾と呼ばれているのは、富山県の西部の海から生地鼻までというのは初めて知りました。また、富山湾の地形は急に深くなっている特殊な海底で、波が伝わりやすいということでした。特に下新川海岸の方は10メートル進むと1メートル深くなる急な海底地形なので、波が伝わりやすいそうです。

今回の工事見学はとても良い勉強になりました。国家公務員の方の仕事は大変だと思いました。